

資料 5-2.

大和川河川事務所による取組支援事例 のご紹介

大和川河川事務所による取組支援事例のご紹介

マイ・タイムライン講習会の事例紹介

○近年の気候変動により、自然災害が激甚化・頻発化しています。そこで、災害時に参加者が取るべき行動を具体的にイメージできるよう、「マイ・タイムライン」を作成する講習会を開催しました。

○大和川河川事務所は、防災に関する基礎知識とマイ・タイムラインの作成手順などを説明しました。また、王寺町は地域に特化したハザードマップの説明を行い、様々な観点から参加者の防災意識の向上を図りました。

概要

【日 時】令和7年6月15日(日)14時～16時
【場 所】王寺一丁目公民館
【参加者】王寺一丁目居住者 17名
【内 容】マイ・タイムライン作成による水害への備え
【講 師】王寺町、大和川河川事務所

講習会資料

王寺町防災
ハザードマップ



防災アニマル診断



マイ・タイムラインノート

当日の流れ



自治会長による挨拶



王寺町防災ハザードマップ説明



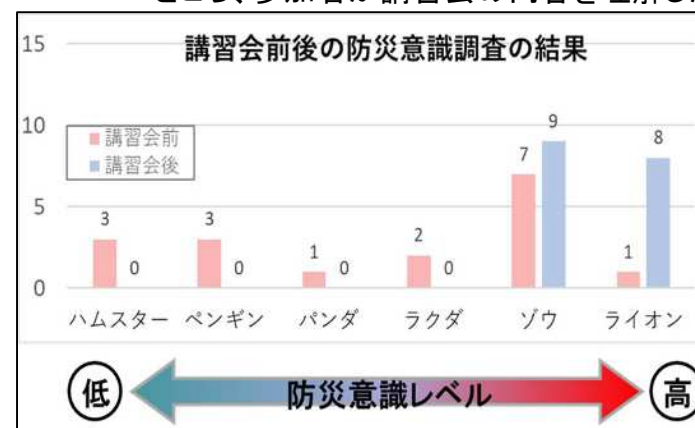
講習会の説明の様子



自宅のリスクの確認

効果

講習会前後に「防災アニマル診断」で参加者の防災意識を調査したところ、参加者が講習会の内容を理解したことを確認できました。



参加者の声

- マイ・タイムラインを作成し、水害への備えを考えることができて良かったです。他の災害への備えに関する講習も受けたかったです。
- 近隣に住む方と話せる機会ができて良かったです。

要配慮者利用施設の避難訓練に係る講習会の事例紹介



国土交通省近畿地方整備局
大和川河川事務所

○要配慮者利用施設では、水防法等で定められている避難確保計画を作成しているものの、効果的な避難訓練の実施に繋がっていない施設が多くあります。

○松原市において、大和川の想定氾濫区域内にある要配慮者利用施設を対象に避難訓練の実施率を上げる事を目的として、避難訓練の必要性、防災気象情報の活用や施設タイムラインの作成に関する講習と意見交換会を行いました。

概要

【日 時】令和6年12月6日(金)14時～16時

【場 所】松原市役所

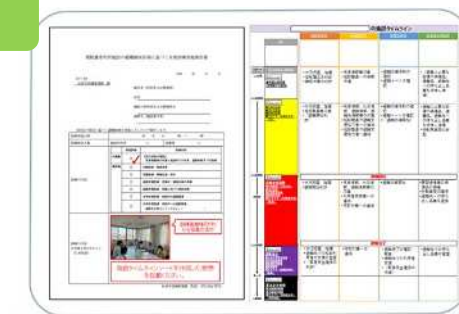
【参加者】要配慮者利用施設関係者 29施設37名
行政関係者(气象台、大阪府、自治体) 12名

【議 題】

- ①避難訓練の必要性について(松原市)
- ②防災気象情報について(大阪管区气象台)
- ③意見交換会

【テーマ】施設利用者と施設職員の命を守る行動

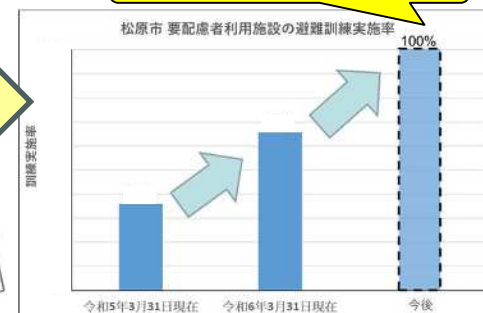
目的



【提出方法】●添付用封筒に開封し、松原市へ提出
●FAXでの提出 のいずれか

後日、各施設でタイムラインを検討(机上訓練)してもらい、避難訓練実施を郵送で報告

訓練実施100%を目指す支援

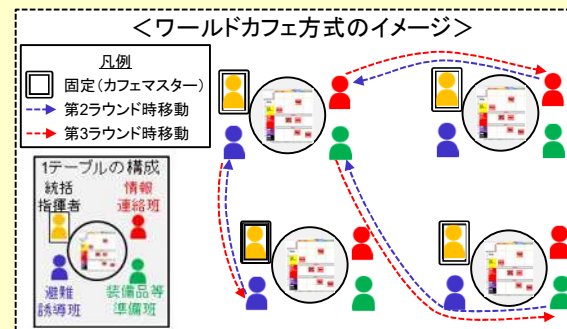


当日の流れ

①知る・作成する



②議論・共有・気づき



4人1班で役割を決めて意見交換し、その後、別班に移動し、その班の意見を収集し、元の班に戻り、意見を集約してタイムラインシートを完成させる。

③施設に持ち帰る



完成したタイムラインシートを撮影(記録)し、各施設のタイムライン作成に活用

まるごとまちごとハザードマップ設置事例紹介

目的

“まちなか”に表示することにより、日常時から水防災への意識を高めるとともに浸水深・避難所等の知識の普及・浸透等を図り、発災時には命を守るための住民の主体的な避難行動を促し、被害を最小限にとどめることを目指す。

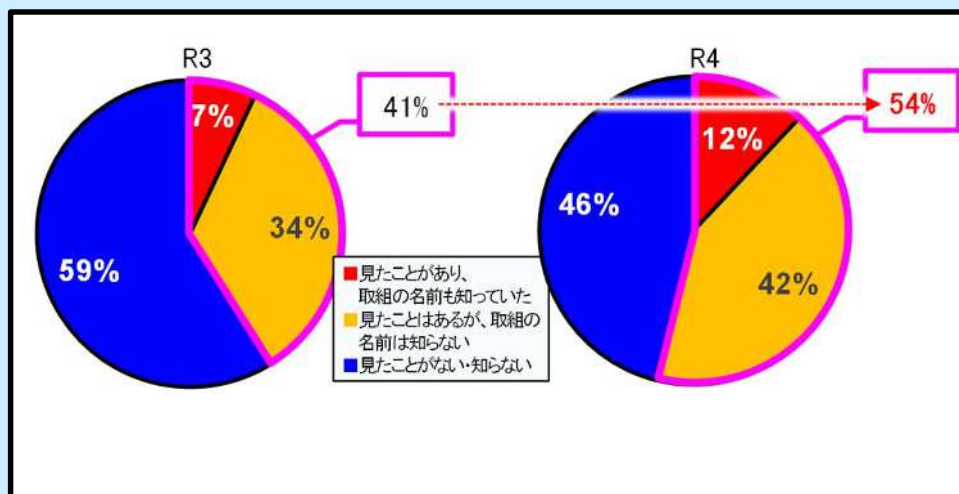
設置事例



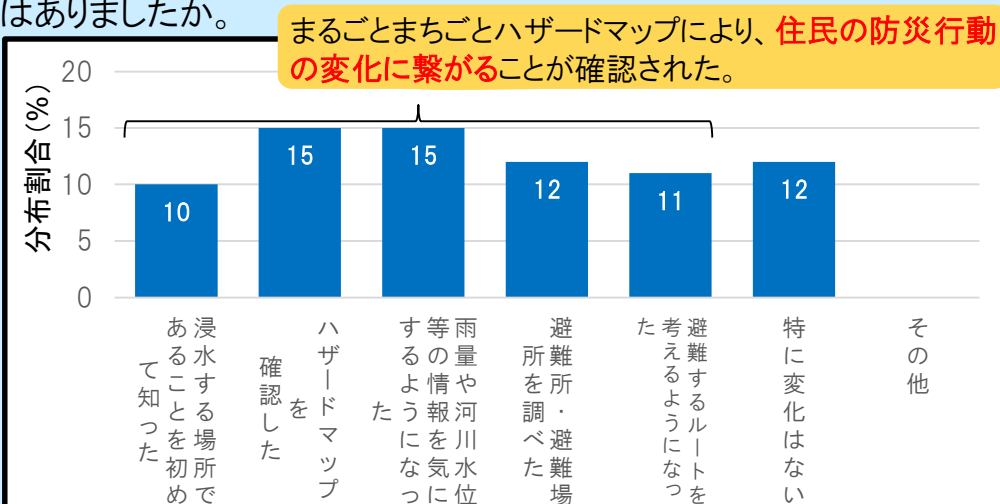
効果

- 藤井寺市で令和3年度に市内掲示板等にまるごとまちごとハザードマップを計118箇所を設置しています。
- 設置前(令和3年度)と設置後(令和4年度)のアンケート調査では、まるごとまちごとハザードマップを「見たことある」と回答した割合が「41%⇒51%」となっています。
- また、まるごとまちごとハザードマップを見たことで「ハザードマップを確認した(14/54人)」や「避難所・避難場所を調べた(19/54人)」のように、行動等に変化があった人が一定数存在することも明らかとなりました。

● 「まるごとまちごとハザードマップ」をご存知ですか(n=100)。



● 「まるごとまちごとハザードマップ」を見たことで何か行動等に変化はありましたか。

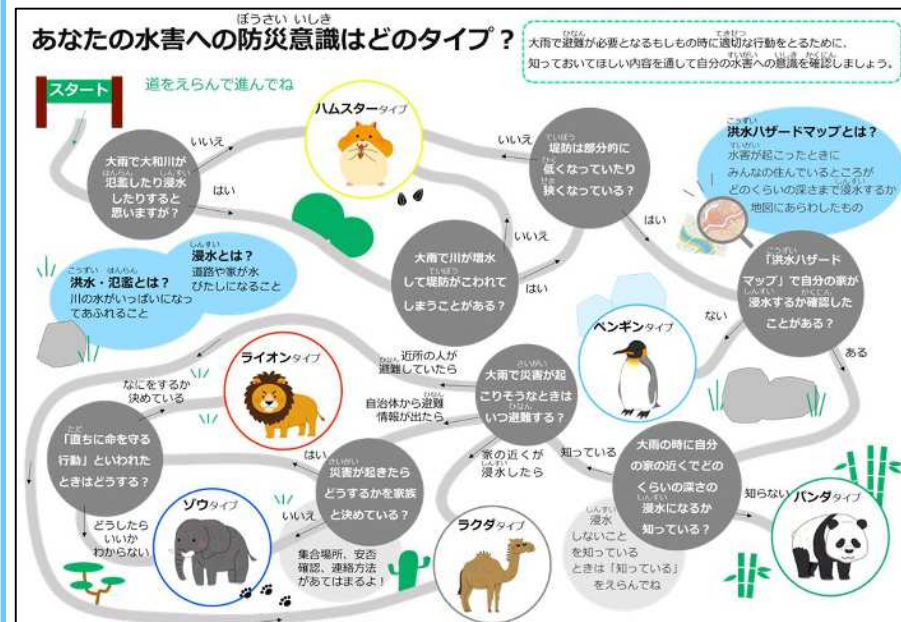


まるごとまちごとハザードマップにより、住民の防災行動の変化に繋がることが確認された。

防災アニマル診断の貸与開始の紹介（1/2）

○ 大和川河川事務所では、『防災アニマル診断』を作成し、地域イベント等で動物アンケートを活用し、回答者の防災意識レベル（動物のタイプ）を踏まえ、認知されていないリスク情報を解説することで、住民の防災意識向上を図っている。

1 住民の方に、楽しみながら回答してもらえ、防災アニマル診断のポスターやバナースタンドの設置を行う

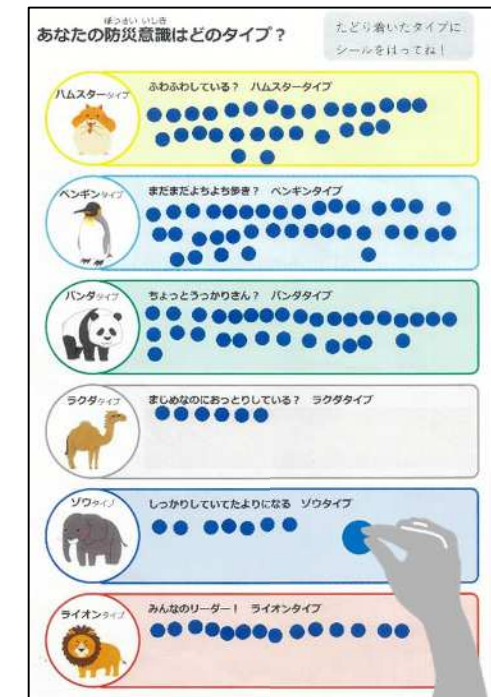


イオンモール大和郡山（R5.2.17）での防災アニマル診断実施状況



ふじいでら市民まつり（R7.11.23）での防災アニマル診断実施状況

2 住民の方は、「1」のタイプに応じてシールを貼る



3 自分の防災意識レベルを知り、タイプに応じた対応をアドバイスシートで確認することで、住民の方は、気づきを得る



【アドバイスシート】



4 地域住民がどのくらいの防災意識レベルなのかを把握できる

ハムスタータイプが最も多いけど、頼りになりそうなライオンタイプも多い。。



防災アニマル診断の貸与開始の紹介（2/2）

○ 大和川河川事務所では、『防災アニマル診断』の貸出を受け付けております。

＜貸出受付中＞

■ 貸出内容（以下3点）

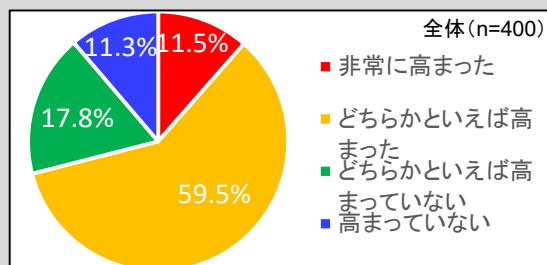
- ① 防災アニマル診断のバナースタンド
- ② 防災意識の結果シート（シール含む）
- ③ デジタル版マイ・タイムライン作成のツールQRコード

■ 自治体貸出事例：王寺町防災訓練（R8.3.22）

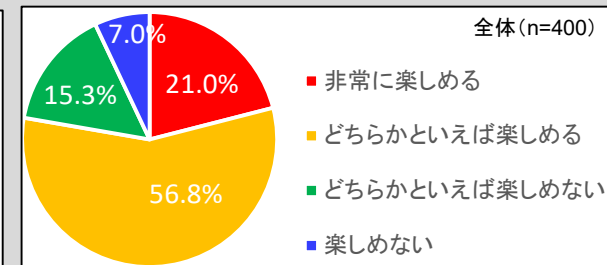


【参考】防災アニマル診断に関するアンケート結果※1

Q1: 防災アニマル診断の回答は楽しめましたか



Q2: 防災アニマル診断に回答して、防災に対する関心が高まったか



※1: 本アンケートは令和6年1月30日から2月1日にかけてWEB方式で実施。回答者は計400人で、藤井寺市・松原市・大阪市東住吉区の住民（各100人）および法隆寺駅利用者（100人）を対象とした。

【参考】防災アニマル診断設置事例



令和7年度富田林市防災フェア
(R7.11.23)



ふじいでら市民まつり
2025
(R7.11.23)



令和7年度
近畿府県合同防災訓練
in北葛城郡広陵町 (R7.10.26)